

「経営に関する計画」の進捗状況

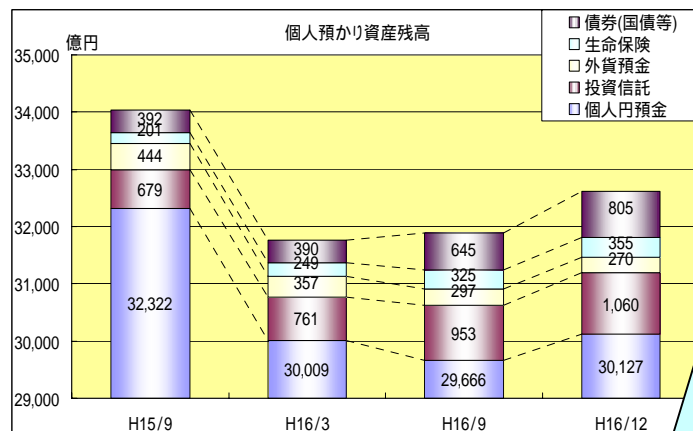
1. 収益基盤の再構築

【H17/3 期第 3 四半期実績】

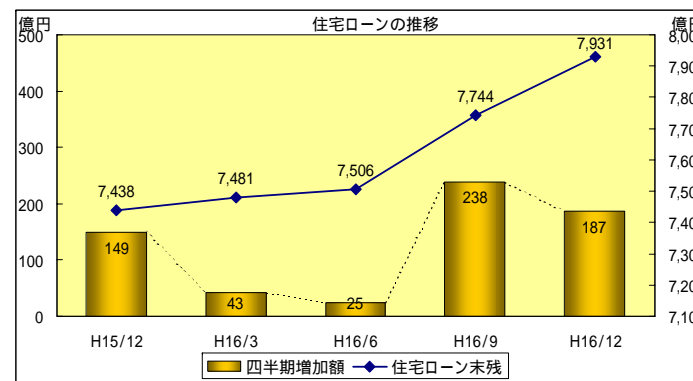
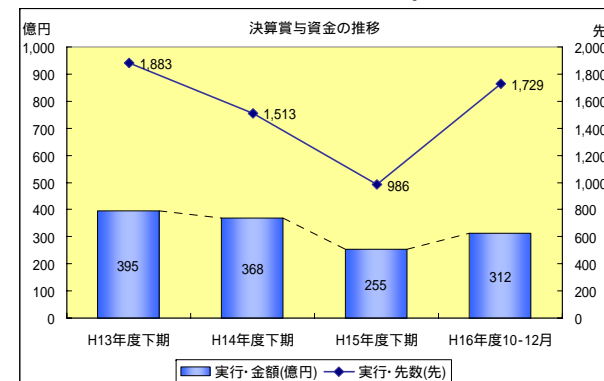
	H16/12 実績	H17/3 計画	計画 対比
業務粗利益	673	871	77.2%
資金利益	572	740	77.2%
役務利益	88	121	72.7%
経費	306	432	70.8%
人件費	143	197	72.5%
物件費	141	209	67.4%
実質業務純益	366	438	83.5%

	H16/3	H16/9	H16/12	H16/9比
預金	44,762	43,549	43,862	391
うち個人	30,365	29,963	30,397	434
うち法人	9,093	9,165	9,522	356
貸出金	35,474	32,435	32,673	238

【非金利収入の拡大】



【小口分散化された与信ポートフォリオへの移行】



2. 徹底した資産健全化 企業再生への取組み

・外部機関の活用実績

承認機関	貸出額
産業再生機構	約 620 億円
整理回収機構	約 165 億円
再生支援協議会	約 35 億円
合計	約 820 億円

上記活用先は、17/3 の債務者区分の改善を見込む
産業再生機構の活用件数は 11 件

・(株)旅館マツリノトへの人材派遣 (H17/2)
・外部機関活用先以外においても、財務面に対するアドバイス等により、17/3 における債務者区分のランクアップが見込まれる。
外部機関活用先と併せて、約 1300 億円程度を見込む

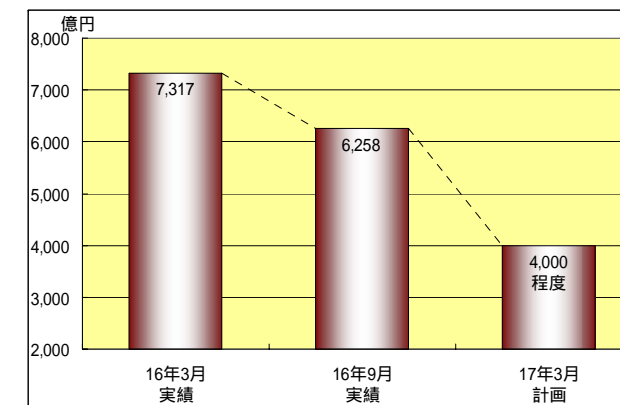
オフバランス化

・実破先、破綻先は原則として年度内にオフバランス化を実施。
(部分直接償却後残高約700億円)

<留意点>

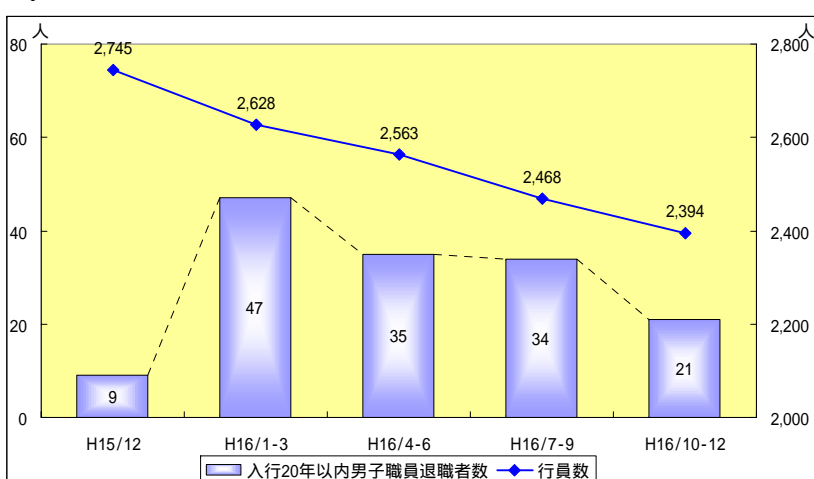
- ・支援対象先やローンのみ個人、延滞期間の短い先は除外
- ・AFG 株毀損の影響を考慮
- ・対象先への説明を徹底
- ・ランクアップが見込まれる先は除外

【不良債権(リスク管理債権ベース)の推移】

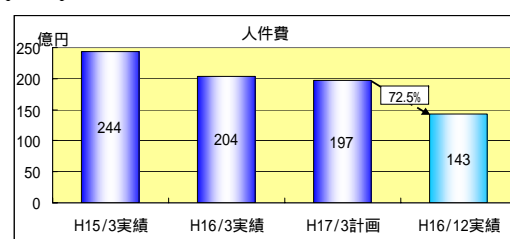


3. コストオペレーション体制の確立

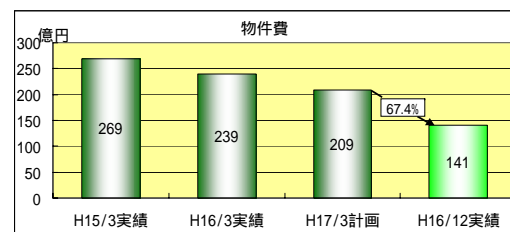
(1) 行員数・退職者の状況



(2) 人件費の推移



(3) 物件費の推移



4. コーポレートガバナンスの確立と行員の意識改革

(1) ガバナンスの確立

- ・委員会等設置会社への移行 (H16/6)
経営監督機能の強化と意思決定スピードの向上
取締役 5 名のうち 2 名を社外登用
- ・組織のスリム化・フラット化 (H16/4,6)
「2 本部・11 部・9 部内室」を「3 本部・8 部」に再編
決裁機能のある会議体を 5 会議体とし、各種委員会は 11 から 5 に再編

(2) 行員の意識改革

- ・本部各部にわたる重要課題について、特命担当を設置 (H16/11)
特命事項について一元的に権限を持ち、実践責任を負う
- ・靴底を減らす (= お客さまとのコミュニケーションの徹底)
- ・当行の再生は、リテール営業がキー
- ・真水の融資 (= 必要な期間・必要な金額で貸出を行う)